

水痘ワクチンの予防接種を受けられる方へ

～予防接種に欠かせない情報です。必ずお読みください。～

<ワクチンの効果と副反応>

水痘ワクチンの免疫獲得率は高く、ワクチン接種を受けた人の90%以上の方が免疫を獲得できるといわれています。しかし、いつまで免疫が持続するかについては、獲得した免疫の状況やその後の周りでの流行の程度によって異なります。

副反応としてはまれにワクチンの接種直後から翌日に発疹、じんましん、紅斑、かゆみ発熱などがみられることがあります。全身症状として、1～3週間ごろに発熱、発疹がみられることがありますが、通常、数日中に消失します。また、帯状疱疹になることがありますが、ワクチン接種を受けない場合とくらべて、同じか低い頻度です。まれに、局所症状として発赤、腫脹、硬結などがみられることがあります。まれに、アナフィラキシー様症状（じんましん、呼吸困難、口唇浮腫、喉頭浮腫など）がみられることがあります。

<予防接種を受けるときの注意>

- ①水痘ワクチンの必要性や副反応について不明な点がある場合は、予防接種を受ける前に医師に相談しましょう。
- ②受ける前日は入浴（またはシャワー）をして、体を清潔にしましょう。
- ③当日は体調をよく観察して、普段と変わったところのないことを確認してください。
- ④清潔な着衣をつけましょう。
- ⑤予診票は医師への大切な情報です。正確に記入するようにしましょう。
- ⑥当日は母子手帳を持っていきましょう

<予防接種を受けることができない人>

- ①明らかに発熱のある人（37.5℃以上）
- ②重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
- ③過去に水痘ワクチンに含まれる成分で、アナフィラキシーを起こしたことがある人（他の医薬品投与でアナフィラキシーを起こしたことがある人は、予防接種を受ける前に医師へその旨を伝え、判断を仰いで下さい）
- ④その他、医師が予防接種を受けることが不相当と判断した人

<予防接種を受ける前にお医者さんとよく相談しなくてはならない人>

- ①心臓病、腎臓病、肝臓病や血液の病気などの基礎疾患がある人
- ②発育が遅く、医師や保健師の指導を継続して受けている人
- ③カゼなどのひきはじめとおもわれる人
- ④前回の予防接種を受けたときに、2日以内に発熱、発疹、じんましんなどのアレルギーを疑う症状がみられた人
- ⑤薬の投与または食事で皮膚に発疹が出たり、体に異常をきたしたことがある人
- ⑥今までにけいれんを起こしたことがある人
- ⑦過去に免疫不全と診断されたことがある人及び近親者に先天性免疫不全の人がいる人
- ⑧水痘ワクチンに含まれる成分でアレルギーを起こすおそれのある人
- ⑨家族、遊び友達、クラスメートのあいだに麻しん（はしか）、風しん、おたふくかぜ、水痘（みずぼうそう）などの病気が流行しているときで、まだその病気にかかったことがない人

<予防接種を受けたあとの注意>

- ①接種後30分は病院にいるなどして様子を観察し、アレルギー反応などがあれば医師とすぐに連絡を取れるようにしておきましょう。
- ②接種後2～3週間は副反応の出現に注意しましょう。
- ③接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射した部位をこすることはやめましょう。
- ④接種当日は接種部位を清潔に保ち、いつも通りの生活をしましょう。ただしはげしい運動は避けましょう
- ⑤高熱やけいれんなどの異常な症状が出た場合は、速やかに医師の診察を受けてください。

＜予防接種健康被害救済制度＞

定期の予防接種により引き起こされた副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障がでるような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく補償を受けることができます。（予防接種と健康被害との因果関係を国の審査会にて審議し予防接種によるものと認定された場合）

＜対象者 接種回数 接種間隔＞

生後12月から36月に至るまでの間にある方 3月以上の間隔をおいて合計2回接種

標準的な接種期間は、生後12月から15月に至るまでに初回接種を行い、追加接種は初回接種終了後6月から12月に至るまでの間隔をおいて1回

問合せ先 野木町健康福祉課健康増進係 TEL 57-4171
